

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年6月15日
【事業年度】	第65期(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)
【会社名】	株式会社ベリテ
【英訳名】	Vérité Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長CEO 平野 和良
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町三丁目33番8号
【電話番号】	045(415)8800
【事務連絡者氏名】	執行役員経理財務部長兼経営企画室長 菊地 広毅
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町三丁目33番8号
【電話番号】	045(415)8800
【事務連絡者氏名】	執行役員経理財務部長兼経営企画室長 菊地 広毅
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月25日に提出した第65期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものです。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(連結損益計算書関係)

(企業結合等関係)

2 財務諸表等

(1) 財務諸表

注記事項

(損益計算書関係)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_線で示しております。

第一部【企業情報】

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【注記事項】

(連結損益計算書関係)

(訂正前)

前連結会計年度 (自平成19年11月1日 至平成20年3月31日)	当連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
* 1 (中略)	* 1 期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下げ後の金額であり、次のたな卸資産評価損が売上原価に含まれております。 <u>179百万円</u> (中略)

(訂正後)

前連結会計年度 (自平成19年11月1日 至平成20年3月31日)	当連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
* 1 (中略)	* 1 期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下げ後の金額であり、次のたな卸資産評価損が売上原価に含まれております。 <u>9百万円</u> (中略)

(企業結合等関係)

(訂正前)

前連結会計年度(自平成19年11月1日至平成20年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)

1. 共通支配下の取引等

当社は、平成20年10月1日をもって、株式会社ジュエリーシノン及び株式会社ソバックと合併しました。

(1) 結合当事企業又は対象となった事業の名称及びその事業の内容、企業結合の法的形式、結合後の企業の名称ならびに取引の目的を含む取引の概要

結合当事企業又は対象となった事業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称：株式会社ベリテ、株式会社ジュエリーシノン、株式会社ソバック

事業の内容：株式会社ベリテ 宝飾品の小売販売

：株式会社ジュエリーシノン 宝飾品の小売販売

：株式会社ソバック 物流サービスの提供及び地金買取り

企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併

結合後企業の名称

株式会社ベリテ

取引の目的を含む取引の概要

株式会社ジュエリーシノンについては当社商品の小売販売を行い、株式会社ソバックについては当社グループ物流業務を委託しておりましたが、吸収合併により、その業務を当社に集中することで、当社グループ全体の経営資源の効率運用に資するものであります。

なお、吸収合併により株式会社ジュエリーシノン及び株式会社ソバックは解散しております。

(2) 実施した会計処理の概要

本吸収合併は、「企業結合に係る会計基準」(企業会計審議会平成15年10月31日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号平成19年11月15日公表分)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。

なお、株式会社ジュエリーシノン及び株式会社ソバックより受入れた資産及び負債は、合併期日の前日に付された適正な帳簿価額により計上しております。

また、連結計算書類においては、株式会社ジュエリーシノン及び株式会社ソバックは当社の連結子会社であったことから、この合併は企業集団の状況に影響はありません。

(訂正後)

前連結会計年度(自平成19年11月1日至平成20年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)

1. 共通支配下の取引等

当社は、平成20年10月1日をもって、株式会社ジュエリーシノン及び株式会社ソバックと合併しました。

(1) 結合当事企業又は対象となった事業の名称及びその事業の内容、企業結合の法的形式、結合後の企業の名称ならびに取引の目的を含む取引の概要

結合当事企業又は対象となった事業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称：株式会社ベリテ、株式会社ジュエリーシノン、株式会社ソバック

事業の内容：株式会社ベリテ 宝飾品の小売販売

：株式会社ジュエリーシノン 宝飾品の小売販売

：株式会社ソバック 物流サービスの提供及び地金買取り

企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併

結合後企業の名称

株式会社ベリテ

取引の目的を含む取引の概要

株式会社ジュエリーシノンについては当社商品の小売販売を行い、株式会社ソバックについては当社グループ物流業務を委託しておりましたが、吸収合併により、その業務を当社に集中することで、当社グループ全体の経営資源の効率運用に資するものであります。

なお、吸収合併により株式会社ジュエリーシノン及び株式会社ソバックは解散しております。

(2) 実施した会計処理の概要

本吸収合併は、「企業結合に係る会計基準」(企業会計審議会平成15年10月31日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号平成19年11月15日公表分)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。

なお、株式会社ジュエリーシノン及び株式会社ソバックより受入れた資産及び負債は、合併期日の前日に付された適正な帳簿価額により計上しております。

また、連結財務諸表においては、株式会社ジュエリーシノン及び株式会社ソバックは当社の連結子会社であったことから、この合併は企業集団の状況に影響はありません。

2【財務諸表等】

(1)【財務諸表】

【注記事項】

(損益計算書関係)

(訂正前)

前事業年度 (自 平成19年11月1日 至 平成20年3月31日)	当事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
(中略) * 3 (中略)	(中略) * 3 期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下げ後の金額であり、次のたな卸資産評価損が売上原価に含まれております。 179百万円 (中略)

(訂正後)

前事業年度 (自 平成19年11月1日 至 平成20年3月31日)	当事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
(中略) * 3 (中略)	(中略) * 3 期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下げ後の金額であり、次のたな卸資産評価損が売上原価に含まれております。 9百万円 (中略)